

## 一日一章 みことばを聴こう

### 5月1日(月) エレミヤ書 第19章

- 1、主は、罪をおかしたユダにたいしてどうなさいますか。これは主のどんな面をあらわしていますか。
- 2、主の決定的なさばきを招いたユダの人々の罪を救えあげてください。彼らの罪のどれが決定的なさばきを招いたのですか。
- 3、主は今日、あなたに何を語ってくださいますか。

### 5月2日(火) エレミヤ書 第20章

- 1、主の御言葉は封じ込めたり(2節および1章10節参照)、抑え込んだり(9節)できるでしょうか。
- 2、エレミヤが、「もう主のことばを宣べ伝えまい。」と思ったということは、彼が主のことばを宣べ伝えることに怠慢であったことを示しているでしょうか。忠実であったことを示しているでしょうか。
- 3、9節のことばを瞑想しましょう。こんな思いをもつほど深く動かされる御言葉を与えてくださるように祈りませんか。

### 5月3日(水) エレミヤ書 第21章

- 1、イザヤ書37章に記されている、ヒゼキヤがアツシリヤの手から救われたような奇蹟的救いを求めてきたゼデキヤに主は何と答えられましたか。
- 2、ヒゼキヤの祈りは聞かれて奇蹟的な救いが与えられ、ゼデキヤの祈りは退けられてさばきが宣告されたのは何故でしょうか。二人の姿勢を比べてください。
- 3、主があなたを打たれるときもあなたは主に身を任せられるでしょうか。

### 5月4日(木) エレミヤ書 第22章

- 1、この章で主が捨てられると語られている人々はどうな人々ですか。2、6、21、24節等参照。どうして、主にとってそんなに大切な

人々を主は捨てられるのですか。

- 2、13〜19節はエホヤキム王の歩みを示していますが、その中の15、16節は彼の父ヨシヤ王の歩みを示しています。ヨシヤとエホヤキムの歩みをくらべてみてください。
- 3、あなたの歩みの中に21節に指摘されているようなところがないか、反省しましょう。

### 5月5日(金) エレミヤ書 第23章

- 1、民を顧みない牧者によって散らされた主の民を主はどうされましたか。どのように救われしましたか。5節の若枝は誰のことでしょうか。
- 2、偽預言者はどんな生活をし(14節)、何を語りますか(16、31、32節)。真の預言者は何を語りますか(28節参照)。
- 3、5、6節の御言葉は、あなたの経験になっているでしょうか。

### 5月6日(土) エレミヤ書 第24章

- 1、国が滅びて外国に捕囚として連れ去られた民は絶望的です。しかし主はその民をどうすると云われましたか。
- 2、主は、ユダの捕囚の民が回復されるのは何故だといわれましたか(7節)救いにとって人間の側で必要なものは何ですか。
- 3、6、7節の御言葉を瞑想し、私の救いがどこから来て、私にどんな恵みを与えてくれるかを考えましょう。

### 5月7日(日) エレミヤ書第25章

- 1、主は悔い改めようとしな御自分の民にどんなに働きかけられましたか(3〜5節)。どうしても悔い改めない民にたいしてどうされましたか(9節)。主は悔い改めようとしな御自分の民にたいして、どんなお気持ちをもちておられたのでしょうか。
- 2、主が御自分の民に望まれたことは何ですか。彼らの実際の反応はどうでしたか。その結果はどうでしたか。

3、主は今日あなたにどんなお気持ちで何と語ってくださいますか。

#### 5月8日(月) エレミヤ書 第26章

1、2と6節の主の言葉の奥にユダとエルサレムの人々にたいするどんな主の御思いをうかがうことができますか。3節の言葉を深く考えてみましょう。

2、宮の荒廃を語ったエレミヤにたいしてユダとエルサレムの人々はどんな反応を示しましたか。何故でしょうか。不安を覚えながら必死に空しいものに頼っているとき、その空しさをあからさまに指摘されると人々はどんな反応を示すでしょうか。

3、あなたは本当に頼れる御方の御手の中に安んじているでしょうか。何かむなししいものに頼っていませんか。

#### 5月9日(火) エレミヤ書 第27章

1、主がユダの人々にバビロンの王ネブカデネザルに仕えよと命じられたのはなぜですか。誰が彼を世界の主にしたのですか。彼に仕えることによってユダの民は何を得ることができましたか。ローマ書13章1節以下参照。

2、偽預言者の言葉はユダの民の自尊心を喜ばせ、安全を保証するように見えました。本当は何をもたらすのでしょうか。

3、異端の教えにひきゆかれないうために、いつも御言葉聴従が必要であることを深く覚えましょう。

#### 5月10日(水) エレミヤ書 第28章

1、ハナヌヤの語ったことはエレミヤも願っていたことですが、それを自分の願いとして主に祈ることと、それを主の名によって語ることとの間には重大な違いがあります。十戒の第二戒(出エジプト20章7節)とくらべてみてください。

2、どうしても主のことばに耳に傾けないハナヌヤにたいしてエレミヤはどんな態度をとりましたか。

3、あなたは、見かけの力や華やかさに惑わされないほど確かに主の御言葉を確信しているでしょうか。静かに反省し、御言葉により頼みみましょう。

#### 5月11日(木) エレミヤ書 第29章

1、主は気まぐれに私たちを支配しておられるのでしょうか。私たちの人生についてはっきりとしたご計画をお持ちでしょうか。おもちだとしてればそれはどんなご計画でしょうか。

2、天の御国の民とされた私たちは「かりそめの」この世の生活をどのように過ごすべきでしょうか。4と7節参照。

3、主は今日、特に何をあなたに語ってくださいましたか。

#### 5月12日(金) エレミヤ書 第30章

1、主がイスラエルとユダに与えられる救いの内容を列挙し、その最もすばらしいものは何であるか考えましょう。3、8と11、17と22節参照。

2、このような救いの預言を聞いた者のなすべきことは何だと思えますか。

3、イスラエルとユダが神の民となり、神が彼らの神となるためにはどんなことがありましたか(21節後半)。私たちが主のものとなるために誰がいのちを捨ててくださいましたか。

#### 5月13日(土) エレミヤ書 第31章

1、主のイスラエルの民にたいする思い(2、3節)とイスラエルのためにしてくださったこと(4、8、9、11、13、14、18、21、25、28、31と34節、等々)を書きしるしてみましょう。

2、主の救いにあずかるイスラエルの姿勢(18、19節)と、救われる前(15節)と後の姿(4と6、12と14、23と24節)とを書き出してみましょう。

3、今日、主はあなたにとってどんな御方ですか。

5月14日(日) エレミヤ書 第32章

- 1、15〜25節からイスラエルの主はどんな主でどんなことをなさったか列挙してみてください。さい。
- 2、やがてエルサレムが陥落し、ユダの人々が捕囚として連れ去られるのがわかっていて、何故エレミヤはアナトテの畑をかったのでしょうか。
- 3、あなたは目の前の現実と主の御約束とどちらにより強く目を注いでいるのでしょうか。

5月17日(水) エレミヤ書 第35章

- 1、主はなぜレカブ人に酒を飲ませようとされたのですか。本当は誰に何を教えたかったのでしょうか。主がいちばん望んでおられたのは何だったのでしょうか。
- 2、主はレカブ人のどういうところをほめられたのですか。またユダとエルサレムの人々のどういう点を責められたのですか。
- 3、あなたの主の御言葉にたいする姿勢をレカブ人の先祖の命令にたいする態度とくらべてみましょう。

5月15日(月) エレミヤ書 第33章

- 1、エルサレム陥落を目の前に恐れおののくユダの民に主は何を語られましたか。主の御約束の一つ一つを数えあげてみましょう。たとえば、捕囚からの解放、再建、罪のゆるし等々。
- 2、捕囚から解放されてエルサレムに帰った人々が最初にすることは何でしょう(11節)。このことからどんなことを学びますか。
- 3、あなたにとっての「ダビデのための正義の若枝」は誰でしょうか。

5月18日(木) エレミヤ書 第36章

- 1、主がエレミヤに、23年間の預言ぜんぶを一つの書物にまとめさせて人々に語り聞かされたのは何故でしょうか(3節)。
- 2、主の言葉を聞いたエホヤキム王はどんな反応を示しましたか。それはどんな結果を招きますか。エレミヤは主の御命令にどう答えましたか。彼はひとりでそのことを成しとげたのでしょうか。
- 3、主の御言葉を聞くときのあなたの態度を反省してみましょう。

5月16日(火) エレミヤ書 第34章

- 1、主はエルサレムの奴隷所有者の何にたいして怒られましたか。なぜでしょうか。ゼデキヤが滅ぼされたのも同じような理由ではなかったでしょうか(歴代誌第二36章13節)。
- 2、エルサレムの人々は主とどんな契約を結びましたか。どの程度その契約に忠実でしたか。
- 3、11、16節の御言葉を繰り返し読んでみましょう。あなたはどのようにか。

5月19日(金) エレミヤ書 第37章

- 1、主がエレミヤによって語ったエルサレムとユダにたいするさばきは、エジプトの援軍の出陣という状況の変化によって変わったでしょうか。
- 2、ゼデキヤ王は何度もエレミヤに主のことばを求めていますが、彼はそれを信じていたのでしょうか。
- 3、あなたは主のみことばを本気で求めているのでしょうか。気安めに求めているのではないのでしょうか。

5月20日(土) エレミヤ書 第38章

- 1、主がエレミヤによってしつこいほどにゼデキヤ王とエルサレムの民に語りかけたのは、彼らをどうしてやりたかったからなのでしょう。(2、17、20節参照)。
- 2、ゼデキヤは主の民ユダの王でしたが、本当に恐れていたのは何だったのでしょうか(5、10、16、24節参照)。
- 3、あなたが本当に恐れているのはなんでしょうか。よく考えてみましょう。

5月21日(日) エレミヤ書 第39章

- 1、主は、主の宮のあつた神の都エルサレムを捨てられました。何故でしょう。受洗後何年、教会でこれこれの奉仕をしているということが救いの保証になるでしょうか。真の救いの保証はどこにありますか(ローマ3章23〜26節)。
- 2、エベデ・メレクが救われたのは何故ですか。
- 3、あなたは、本当にイエス・キリストの血潮にのみ頼っているでしょうか。自分がクリスチャンであること、信仰生活の経験、奉仕などに頼っているところはないでしょうか。

5月22日(月) エレミヤ書 第40章

- 1、主のことばが真実であることは未信者にはわからぬことでしょうか。
- 2、エレミヤは、好意をもってくれている王や侍従長のいる豊かなバビロンでの生活と、廃墟の中の苦しい生活が予想されるユダの残された民の中での生活と、いずれを選びましたか。何故だと思いますか。
- 3、あなたは、未信者に聖書のことなど話してもわからないと考えて、御言葉を伝えるのを躊躇することはないでしょうか。

5月23日(火) エレミヤ書 第41章

- 1、良い総督ゲダルヤや敬虔な巡礼者たちが殺されるのを主は見過ごされましたが、何故だかわかりません。しかし、わからないことがあれば主は信じられないでしょうか。十字架上のイエスキリストの御姿を覚えましょう(マタイ27章46およびルカ23章46節参照)。
- 2、イシュマエルは、主の民を治めるのはダビデ家のものでなければならぬと考えてダビデ家のものではないゲダルヤを殺したようですが、その結果はどうでしたか。国を興し、人々を生かし、自分も生かすことになったでしょうか。
- 3、あなたは御言葉にしっかりと立ち主を信頼しているでしょうか。何かのキリスト教的教えに立っているのでしょうか。よく考えてみましょう。

5月24日(水) エレミヤ書 第42章

- 1、民が不安の中で主のみこころを求めたとき、主はお答になりましたか。このお答の中に主の民にたいするどんな思いを認めることができますか。
- 2、主のお答えが与えられるまでの十日の間に民の心はどうなっていましたか。ここから主のみこころを知るには何が大切だとわかりますか。
- 3、あなたは、御言葉が与えられるまで信じて待つことができるでしょうか。主を信じ抜きましよう。

5月25日(木) エレミヤ書 第43章

- 1、主は、不信仰な民を捨ててしまわれたでしょうか。主はどこまで彼らに語り続けられましたか。
- 2、ヨハナンたちが「主の御声に聞き従わなかった」のは何故でしょうか。本当に主に聞き従うためには何が必要でしょうか(マルコ8章34節参照)。
- 3、あなたには、いのちがけで主の御言葉に聞き従う用意があるでしょうか。

5月26日(金) エレミヤ書 第44章

- 1、主は偶像礼拝に走る人をどうされましたか(4、6、7、8、22、25節以下)。
- 2、エレミヤは、主の御言葉に基づいてユダの歴史を見(2、6、21、23節)、ユダの人々は御言葉から離れ自分たちの経験に基づいて神さまを見ようと思いました(17、18節)。私たちは自分の経験と聖書のことばと、どちらを信頼すべきでしょうか。(注) 歴史の世界では原因と結末に時間の遅れがあることを考えましょう。

- 3、あなたの目は、今どこを向いているでしょうか。御言葉でしょうか、自分の経験でしょうか。

5月27日(土) エレミヤ書 第45章

- 1、4節の御言葉を読んで何を感じますか。ユダをさばかねばならなかった主の愛と悲しみの御声を聞くことができますでしょうか。
- 2、主の御言葉を語るエレミヤとバルクは民に歓迎され、主に重んじられる出世と成功を期待できたでしょうか。主は何を約束せず、何を約束されたのでしょうか。
- 3、あなたは、主に何を期待しているでしょうか。

5月29日(月) エレミヤ書 第47章

- 1、イスラエルを侵略し、偶像礼拝を強いてきたペリシテ人を打ったのは誰ですか(2節) 彼について聖書は何と云っていますか(6節)。本当の審判者は誰ですか。
- 2、ペリシテ人は、すぐれた技術と武力をもっていたのですが、その力は自分たちを守るのに役に立ったでしょうか。人の生活に本当の平安を与えるものは何でしょうか。
- 3、今日、主はあなたに何を語ってくださいましたか。

5月30日(火) エレミヤ書 第48章

- 1、モアブは、神に従わずに、しかも安らかに住み、繁栄を享受していたようですが、主はこのモアブをそのまま見過ごされたでしょうか。しかし、モアブにたいするさばきが終わったときは、どうされるのですか(47節)。
- 2、モアブのさばきの原因は何だったのででしょうか(7、13、26、30、42節参照)。
- 3、モアブにたいする主の思いを瞑想してみましょう。主はあなたにどんな思いをもって臨んでおられるのでしょうか。あなたは、主を知らない人々にどんな思いをもっているのでしょうか。

5月31日(水) エレミヤ書 第49章

- 1、19節から、主の独自性、主権性、尊厳について考えてみましょう。人間が誇りとし頼みとすべき御方は主御一人であることを覚えましょう。
- 2、ここでさばかれている民の共通の要素は何でしょうか(4、16、31、35節参照)。彼らは何を頼りに生きていたのでしょうか。
- 3、あなたは何を頼みとしているか、よく考えてみましょう。

5月28日(日) エレミヤ書 第46章

- 1、強力なエジプト軍が敗れたのは何故ですか。エジプト本国まで侵されるのは何故でしょうか(10、18節参照)。真に世界の出来事を支配しておられるのは誰でしょうか。
- 2、エジプトが打たれたのは何故でしょうか(25節参照) 私たちは誰に頼って生きるべきでしょうか。
- 3、27、28節の御言葉を瞑想しましょう。